

大会競技規定

- 1) 大会に参加できる選手は、各団体推薦選手並びに各都道府県の予選会を通過した選手に限るが、各都道府県の選抜方法は各地区に一任する。
- 2) レーンの割振りについては大会実行委員の厳正な抽選を行い決定するので、レーンの変更はマシントラブル以外は認めない。
- 3) 本大会において“得点が同一の場合”次の通り裁定し、順位を決める。
 - 《予選》
 - ①シルバー部門・ジュニア部門はハンディキャップの少ない方を上位とする。
 - ②ハイシリーズとローシリーズの差が少ない方を上位とする。(前後半3Gシリーズ)
 - ③上記②が同一の場合、ハイゲームとローゲームの差が少ない方を上位とする。
 - ④上記②・③共に同一の場合、“全ゲームのストライク数が多い者”を上位とする。
 - ⑤さらに上記④も同一の場合“全ゲームのスペア数が多い者”を上位とする。
 - 《決勝》
 - ⑥シルバー部門・ジュニア部門はハンディキャップの少ない方を上位とする。
 - ⑦決勝で投球した3ゲームのハイゲームとローゲームの差が少ない方を上位とする。
 - ⑧上記⑦が同一の場合、“3ゲームのストライク数が多い者”を上位とする。
 - ⑨上記⑦・⑧共に同一の場合、“3ゲームのスペア数が多い者”を上位とする。
 - 《H/G賞・H/S賞》
 - ⑩該当者全員を表彰対象とする。(予選ゲームスクラッチスコア対象)
- 4) 遅刻については、各シフト受付終了時をもって遅刻とし、それ以後の参加は認めない。
- 5) スコアの確認は各ゲームスコアをスコアカードに記載し提出する際、競技者自身がサインをすること。
- 6) アプローチパウダー、その他の物を使用しアプローチの状態を変更してはならない。
万一不備のある場合は競技委員に申し出てその指示に従うこと。
- 7) 機械によるピン倒れや不明確なものは、全て再配置とするものとする。
- 8) フェールは次の投球者が投げるまでの範囲で採用し、フェール判定機の故障によって生じたと思われる場合は競技委員が検査し裁定する。
- 9) ゲームの途中のリセット(1ゲームにつき1人最大2回まで)は、必ずボックス内の確認を必要とする。
- 10) ボールについては、参加選手1名につき会場内への持込を2バッグ(最大3個入)までと限定し、ボールにはテープその他の物を付着させてはならない。又、大会使用ボールは検量証(BPAJ会員センター及びボウラー団体発行の証)を携帯のこと。尚、当日検量証不携帯の方は事前にボール検量の事。(1個500円・本大会のみ使用)
- 11) ボールバランスに関しては、国際ボウリング連盟(IBF)が2020年8月から採用のルールを採用する。
バランスホールがあるボールは使用不可とする。使用が発覚した場合はそれまでのスコアを無効とする。
※ボール表面の調整及び表面加工については練習ボール終了までは可とする。但し、BOX外で行うこと。
今大会では、ゲーム間の表面調整は不可とする。(シフト間は表面調整・加工ともに可)
- 12) 選手は必ず選手名及びBPAJ加盟のボウリング場名又は所属団体名を入れたユニフォームを着用、
又、選手はスポーツマンとして恥じない品位のある服装で来場のこと。
- 13) 競技者は競技中の喫煙を禁止とする。又、食事に関しては競技中禁止とし、飲料に関してはボウラーズベンチ後方にて周囲に配慮し摂ることが出来る。
- 14) スムーズな大会進行を行うために左右1レーンが空いたら投球する。
- 15) その他は、通常行われている競技方法に依るが、トラブルが発生した場合は競技委員長が最終協議裁定を行う。
- 16) 個人情報については、大会事務局にて責任を持って管理を行う。
- 17) 競技方法、スケジュール並びに参加人数等、大幅な変更または予選会及び、本大会の開催を中止する場合もある。開催中止となった場合の参加費の返還は各所属団体または、各都道府県事務局を通じて行う。
但し、所定の投球が完了している場合は参加費の返還は一切行わない。
- 18) 本大会に参加する小学生以下の選手については、保護者が引率することを必須とする。